

東アジア文化都市 2015 新潟市

# NIDDF 2015

新潟国際ダンスフェスティバル

2015年 8月21日[金]—9月4日[金]

アーティストックディレクター

**金森 穰** [新潟市文化創造アドバイザー]

メイン会場

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館〈劇場〉

パフォーマンス

**大邱市立舞踊団(DCMDC)** [韓国 大邱]

『Moon-Looking Dog』 / 新作『I Saw the Elephant』 より第2部

8月21日(金) 19:00 開演

**城市当代舞踊団(CCDC)** [中国 香港]

『As If To Nothing』

8月28日(金) 19:00 開演

**Noism0(ノイズムゼロ)** [日本 新潟]

新作『愛と精霊の家』

9月4日(金) 19:00 開演

ディスカッション

文化鼎談—劇場専属舞踊団の課題とアジアの未来

ホン・スンヨプ(DCMDC 芸術監督) × ウィリー・ツァオ(CCDC 芸術監督) × 金森穰(Noism 芸術監督)

8月23日(日) 14:30 – 16:30

会場：新潟県民会館〈小ホール〉

主催：新潟市、公益財団法人新潟市芸術文化振興財団 共催：「東アジア文化都市 2015 新潟市」実行委員会  
製作：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 特別協力：香港特別行政区政府 駐東京経済貿易代表部

### NIDF2015—新潟インターナショナルダンスフェスティバルとは

「東アジア文化都市 2015新潟市」事業の一環として、新潟市文化創造アドバイザーの金森穰(Noism 芸術監督・演出振付家)がアーティストックディレクターをつとめ、今夏、リューとぴあ 新潟市民芸術文化会館をメイン会場に初開催する国際ダンスフェスティバルです。

舞踊作品上演や文化鼎談により東アジアの差異や共通点を浮き彫りにし、「アジアにおける劇場文化政策の課題」や「21世紀国際社会に於けるアジアの役割」についての考察を促します。

### 韓国と中国の舞踊芸術を牽引するダンスカンパニーが新潟に初来日

韓国の大邱市と中国の香港特別行政区を拠点に、それぞれの国で同時代の作品創造を行う初のプロフェッショナルカンパニーとして創設された舞踊団を新潟市に招聘。韓国からは[大邱市立舞踊団(DCMDC)]、中国からは[城市当代舞踊団(CCDC)]が初来日します。

### 新潟市を拠点に活動するNoismのプロジェクトカンパニー Noism0が新作を発表

日本からは、国内初の劇場専属舞踊団Noismのプロジェクトカンパニー[Noism0(ノイズムゼロ)]が参加。この夏新潟で開催される「水と土の芸術祭 2015」を契機に発足し、本フェスティバルにて新作『愛と精霊の家』を上演します。

### 芸術監督3名による文化鼎談を開催

フェスティバルに参加する各舞踊団を率いる3人の芸術監督が、劇場専属舞踊団の課題やアジアの未来などをテーマにディスカッションを行います。

※ 東アジア文化都市：日中韓文化大臣会合での合意に基づいて、日中韓3か国で文化芸術による発展をめざす都市を選定し、さまざまな文化芸術イベントなどを実施するものです。これにより東アジアの相互理解を深めるとともに、多様な文化の国際発信力を高めます。国内では2014年の横浜市に続き、新潟市が開催都市に選定されました。

※ NIDF：Niigata International Dance Festivalの頭文字を取って付けた名称です。

---

## 開催理念

ここ新潟は、日本で唯一日本海側に位置する政令市です。太平洋側の都市が日本に於ける海外への表口だとすれば、新潟は海外への裏口です。日本の鎖国時代にも、新潟は北前船などによって常に国際的に開かれた都市でありました。昨今、日中韓は歴史問題や領土問題に揺れ、国家間の対立は国民を不安にさせるには十分なものになっています。そして今、日本は経済による国際貢献ではなく、軍事的な力によってその立場をなんとか保持しようとしているようにもみえます。

このような時代にあって、互いの“差異によって豊穰”となり、互いの“類型によって普遍性を感得”することにその真価のある、「文化」による国際交流事業を行うことは、我々文化に携わる者の責務ですらあると感じています。

そしてこの交流事業が、アジアに於ける劇場文化政策の課題、21世紀国際社会に於けるアジアの役割について考察するきっかけとなることを願っています。

新潟インターナショナルダンスフェスティバル  
アーティストックディレクター

**金森穰** [新潟市文化創造アドバイザー]

【韓国・大邱】  
大邱市立舞踊団(DCMDC)

Daegu City Modern Dance Company

『Moon-Looking Dog』／  
新作『I Saw the Elephant』より第2部

(ダブルビル公演)



Photo: 『I Saw the Elephant』(2015年) Photo: Gyeongyun Lee

日時：8月21日[金] 19:00 開演

会場：リューとびあ新潟市民芸術文化会館〈劇場〉

＊終演後アフタートークあり ホン・スンヨプ×金森穂

『Moon-Looking Dog』

1999年ソウル国際舞踊祭で初演したホン・スンヨプの代表作のひとつ。彼はこの作品により国際的に知られることとなった。彼の作品のテーマは常に「自我の探求」である。本作は3つの場面に分かれ、抽象的なイメージがリズムカルに展開される。その独特かつ滑稽な動きは、たとえば犬のように人間ではない視点から見た現代人を感覚的に描いている。

芸術監督・振付：ホン・スンヨプ／音楽：キム・テグン／舞台美術：オム・ジンソン／衣裳：ホン・スンヨプ／  
照明：シン・ソンファン／舞台監督：カン・ヒスン／出演：大邱市立舞踊団

新作『I Saw the Elephant』より第2部

『Moon-Looking Dog』と同じく「自我の探求」がテーマであるが、その表現スタイルや動きの構成は極めて異なる。ホンが大邱市立舞踊団芸術監督に就任後、初の振付となる本作は、彼にとっての大きな挑戦であり、最も進化した純粋な動きの結晶体である。今回の新潟公演では、第2部を中心に新たな作品として再構築される。2015年5月初演。

芸術監督・振付：ホン・スンヨプ／音楽：キム・テグン、イ・ヨンロク、キム・テワン／舞台美術：オム・ジンソン／  
衣裳：チュ・ヒョスン／照明：シン・ソンファン／舞台監督：カン・ヒスン／出演：大邱市立舞踊団

大邱市立舞踊団

韓国で初めての公立現代舞踊団として、1981年設立。毎年2回の定期公演のほか、韓国内のみならずアジア、ヨーロッパなどの海外公演も行い、活発な活動を続けている。14年11月、6代目の芸術監督として、振付家ホン・スンヨプを迎え、45名の団員と共に、レベルの高いダンスで韓国の現代舞踊の発展に寄与している。

Photo: Mun Jin Hak



芸術監督プロフィール

ホン・スンヨプ Sung Yop Hong

大邱市立舞踊団芸術監督・振付家

1982年、慶熙大学繊維工学学科在学中にモダンダンスを始める。93年に韓国初のプロ舞踊団“Dance Theater On”を設立し、韓国の現代舞踊界に新たな展望を切り開いた。99年ソウル国際舞踊祭・振付賞、01年韓仏文化賞を受賞。03年、05年のベストモダンダンサー(東亜日報)に選ばれる。10-13年韓国国立現代舞踊団の初代芸術監督を歴任。

## 【中国・香港】 城市当代舞蹈团(CCDC)

City Contemporary Dance Company

### 『As If To Nothing』

日時：8月28日[金] 19:00 開演

会場：リューとぴあ新潟市民芸術文化会館〈劇場〉

\*終演後アフタートークあり サン・ジジア×金森穂



Photo: Comrado Dy-Liacco

### 『As If To Nothing』

デジャヴの迷路へと迷い込み、自らの記憶に足を取られる。その繊細な瞬間瞬間に、記憶は近く遠くをさまよひ、時間の波間にゆくりと呑み込まれていく。散在する名前、ゆがんだ顔、さまよう時間、変幻する光景、聞き慣れた筋書き。記憶と忘却の境界でもがき苦しむ。残されたものは空虚。この狂った世界の、何が真で、何が偽なのか。

国際的にも評価の高い振付家サン・ジジアの振付による『As If To Nothing』は、観客を興奮の渦に巻き込むインタラクティブなマルチメディアパフォーマンス。ディクソン・ディーの電子音楽、エイドリアン・ユンの映像を配し、香港随一のコンテンポラリーダンスカンパニー CCDC のフィジカルかつエモーショナルなパフォーマンスにより、とてもパワフルな作品となっている。2009年初演。

芸術監督：ウィリー・ツァオ/芸術監督補佐：リンゴ・チャン/振付・舞台美術：サン・ジジア/作曲・生演奏：ディクソン・ディー/  
オリジナル照明デザイン：ゴウ・ブーン・アン/照明デザイン監修：ロウ・シーホウ/衣裳：チャーリー・フン/

映像：エイドリアン・ユン/出演：城市当代舞蹈団/カンパニー助成：香港特別行政区政府

## 城市当代舞蹈団

創設者であり現芸術監督であるウィリー・ツァオのディレクションのもと、35年の長きにわたり数多くの優れた現代舞踊作品を上演し、香港の観客に刺激と感動を与え続けている。1979年の創設以来、200本以上のオリジナル作品を制作。他分野アーティストとの画期的なコラボレーションや海外アーティストの招聘なども行う。活気に溢れ多様な顔を持つ香港文化の力強さと創造性を背景に持つCCDCの活動は「香港の現代芸術の魂」と評されている。

Photo: Ringo Chan



#### 芸術監督プロフィール

**ウィリー・ツァオ** Willy Tsao

大邱市立舞踊団芸術監督・振付家

1979年に城市当代舞踊団(CCDC)を設立し、89年に芸術監督に就任。同時に、中国の三大ダンスカンパニーであるCCDC、広東モダンダンスカンパニー、そして北京雷動天下現代舞団をも率いている。中国でもっとも多作な振付家であり、哲学や歴史、京劇からチャイニーズロックにいたるまで、中国文化全般から広くインスピレーションを得て制作されるその作品は、国内外で上演され、コンテンポラリーダンスの発展に計り知れない貢献をしている。

Photo: Ma Chi-cheng



#### 振付家プロフィール

**サン・ジジア** Sang Jijia

振付家

ロレックス芸術指導教育構想のプログラムにより「もっとも完璧なダンサー」としてウィリアム・フォーサイスの下で振付を学ぶ。その後継続してフランクフルトバレエ団、そしてフォーサイス・カンパニーに振付補佐兼ダンサーとして在籍。彼の振付は極めて激しいフィジカルなムーブメントとユニークなリズムを組み合わせ、心理的な緊張と異方性を作り出す。ヨーロッパやアジアの著名なカンパニーにダンサーとして参加し振付も提供。現在、城市当代舞踊団(CCDC)の専任振付家を務めている。



【日本・新潟】

## Noism0 (ノイズムゼロ)

### 新作『愛と精霊の家』

＊「水と土の芸術祭 2015」参加作品



Photo: Kishin Shinoyama(金森、井関、山田) Photo: monoko japan(小塚)

日時：9月4日[金] 19:00 開演

会場：りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館〈劇場〉

＊終演後アフタートークあり 金森穰

### 新作『愛と精霊の家』

金森穰と井関佐和子によるプライベートユニット unit-Cyan が2012年に発表した『シアンの家』を基に、人類普遍のテーマ、永遠のテーマである愛と死を描く。本作ではその普遍的テーマをより一層際立たせるために、1人の俳優と2人の舞踊家をゲストに迎えて創作する。1人の俳優(奥野)と3人の舞踊家(山田/小尻/金森)は男の愛の多面性を、人形・舞踊家・妻・母になれぬ女を演じる舞踊家(井関)は、女の愛の孤独を象徴する。4人の男と女の4役はシ(死)のメタファーとして作品に通底していく。果たして死んでいるのは男か女か。終わり無き始まりと、始まり無き終わりの輪廻の中で、永劫回帰を繰り返す男と女の魂は、夢幻の境を彷徨いながら、愛を求めて1人さすらう。

演出振付：金森穰／美術：須長檀／衣裳：中嶋佑一／映像：遠藤龍／照明：伊藤雅一(RYU)、金森穰／舞台監督：尾崎聡／出演：井関佐和子、山田勇気、小尻健太、奥野晃士、金森穰／原案：シアンの家(初演：2012年9月1日 高知県立美術館)／製作協力：水と土の芸術祭 2015 実行委員会

## Noism0

りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館を拠点に活動する日本初の劇場専属舞踊団 Noism のプロジェクトカンパニー。Noism は、演出振付家・舞踊家の金森穰がりゅーとびあ 舞踊部門芸術監督に就任したことにより2004年に設立。プロフェッショナルカンパニー Noism1 と研修生カンパニー Noism2 で構成され、新潟から世界を見据えたカンパニー活動と、舞踊家たちの圧倒的な身体によって生み出される作品は、国内外で高い評価を得ている。15年、新たなプロジェクトカンパニー Noism0 を立ち上げ。舞踊に限らず、演劇、音楽、美術等それぞれのジャンルで専門的経験を積んだ芸術家が集うプロジェクトとして公演を行う。



### 芸術監督プロフィール

**金森穰** Jo Kanamori

Noism 芸術監督・演出振付家

演出振付家、舞踊家。りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館舞踊部門芸術監督、Noism 芸術監督。17歳で単身渡欧、モーリス・ベジャール等に師事。イリ・キリアンにその才能を認められ20歳で演出振付家デビュー。10年間欧州の舞踊団で活躍後、帰国。2004年、日本初の劇場専属舞踊団 Noism を立ち上げる。14年より新潟市文化創造アドバイザー。平成19年度芸術選奨文部科学大臣賞、平成20年度新潟日報文化賞ほか受賞歴多数。

## 公演情報

### ■大邱市立舞踊団(DCMDC) [韓国 大邱]

『Moon-Looking Dog』

新作『I Saw the Elephant』より第2部

8月21日(金) 19:00開演

### ■城市当代舞踊団(CCDC) [中国 香港]

『As If To Nothing』

8月28日(金) 19:00開演

### ■Noism0(ノイズムゼロ) [日本 新潟]

新作『愛と精霊の家』

9月4日(金) 19:00開演

会場：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館〈劇場〉

## ディスカッション

8月23日(日) 14:30 - 16:30

文化鼎談—劇場専属舞踊団の課題とアジアの未来

会場：新潟県民会館〈小ホール〉

入場無料・要申込

■申込方法：メールもしくはFaxで

①氏名(ふりがな) ②住所 ③Tel / Fax ④メールアドレス

を明記のうえ、下記までお申し込みください。

\*先着順。定員に達した場合のみ、折り返しご連絡いたします。

■申込先

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 NIDF2015「文化鼎談」

E-mail: info-nidf@ryutopia.or.jp

Fax: 025-224-5626

### 関連情報

#### 同時開催「水と土の芸術祭2015」

2015年7月18日(土)～10月12日(月祝)

この夏、新潟では、国内外のアーティストが参加し、「潟」を中心とした市内各所で作品展示、パフォーマンスなど様々なプログラムを展開する「水と土の芸術祭」が開催されます。パフォーマンス・ディレクターをNoism芸術監督の金森穰がつとめ、期間中Noismによるさまざまな公演も予定しています。詳しくは「水と土の芸術祭2015」もしくはNoismの公式サイトをご覧ください。

### ■チケット発売日

一般 7月18日(土) / N-PACmate(友の会) 先行 7月15日(水)

### ■チケット料金(全席指定)

3公演セット券 10,000円

2公演セット券 8,000円 \*DCMDC & Noism0もしくはCCDC & Noism0

単券 DCMDC[韓国 大邱] 一般4,000円 学生3,200円

CCDC[中国 香港] 一般4,000円 学生3,200円

Noism0[日本 新潟] 一般5,000円 学生4,000円

\*セット券はりゅーとぴあ(窓口・電話)のみでの取扱い。

\*セット券および学生券は、N-PACmate等、他の割引との併用はできません。

### ■チケット取扱い

りゅーとぴあ(窓口・電話・オンライン)

チケット専用ダイヤル Tel: 025-224-5521(11:00-19:00、休館日を除く)

オンライン・チケット <http://www.ticket.ne.jp/ryutopiaticket/>

e+ イープラス <http://eplus.jp/> (PC・MB)

### ■サポートシステム

託児サービス(有料・公演2週間前まで)のご予約、車イスでご来場の方は、事前はりゅーとぴあチケット専用ダイヤルまでご連絡ください。

### ■お問い合わせ

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 NIDF2015

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2

Tel: 025-224-7000 Fax: 025-224-5626

E-mail: info-nidf@ryutopia.or.jp

### ■会場へのアクセス

電車：JR 越後線白山駅より徒歩15分

バス：JR新潟駅万代口より「市役所前」下車徒歩7分、「競技場前」下車

徒歩5分、「白山公園前」下車徒歩3分

車：新潟駅より15分、関越自動車道／磐越自動車道新潟中央ICより20分

※りゅーとぴあには専用の駐車場がありません。なるべく公共交通機関をご利用ください。

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

新潟市中央区一番堀通町3-2

<http://www.ryutopia.or.jp/>

新潟県民会館

新潟市中央区一番堀通町3-13

<http://www.niigata-kenminkaikan.jp>

### 本プレスリリースに関するお問い合わせ

NIDF2015 広報

E-mail: info-nidf@ryutopia.or.jp

Tel: 025-224-7000 Fax: 025-224-5626

NIDF公式サイト <http://noism.jp/nidf2015/>

twitter @NIDF\_PR

Facebook <http://www.facebook.com/niigata.international.dance.festival>